

那須塩原市子ども・子育て会議第13回会議における議題とその検討結果について

○議題

(1) 那須塩原市子ども・子育て未来プランの実施状況について【資料1】

◆議題の概要

- ・計画に掲げた事業（全91事業）を実施する課が、平成27年度の目標達成度等の状況进行评估。
- ・評価ランクは「A＝計画どおり進捗した」、「B＝目標に近く、概ね進捗した」、「C＝目標には届かないが、進捗している」、「D＝停滞・事業の未実施」、「E＝終了」の5分類。
- ・全91事業中、「A：62事業」、「B：21事業」、「C：4事業」、「D：4事業」となった。
- ・A・B評価の事業は全体の91.2%を占めている。一方、D評価の事業は4.4%にとどまり、全体としての進捗状況は良好であると評価できる。

◆委員からの主な意見

- ・会議資料については、事前送付を確実に守ってほしい。
- ・保育士就職支援講座については、講座を実施する前に、昨年度に県が実施した、保育士有資格者あてのアンケート調査における課題（就職しない理由等）や対策を十分検討して欲しい。
- ・保育士の就労形態の多様性をもっとアピールすべき。
- ・保育士の処遇改善を根本的に考えなければならない。
- ・特に中学校における、部活動全員加入による費用負担増が問題となっている。全員加入というやり方そのものを改善できないものか。
- ・高齢者の介護施設等に保育機能を持たせるといった、先駆的な事例研究に取り組むことも必要ではないか。
- ・学童クラブについても、保育士と同様の問題（慢性的な人材不足、職員の処遇改善）がある。また、支援児の受け入れ、相談体制の充実等、より専門性が求められている。
- ・給付型の奨学金制度や、奨学金制度と就労を結びつけるような取組について検討して欲しい。

(2) 那須塩原市子どもの権利に関する行動計画の実施状況について【資料2】

◆議題の概要

- ・子どもの権利条例に基づいて平成27年3月に行動計画を策定した。
- ・各所管課が平成27年度に行った事業（全24事業）に対する評価となる。
- ・評価方法は「子ども・子育て未来プラン」と同様。

- ・一部の事業については「子ども・子育て未来プラン」にも位置づけられている。
- ・全24事業中、「A：17事業」、「B：6事業」、「C：1事業」となった。

◆委員からの主な意見

- ・子どもの権利に関する相談体制について、子どもや保護者にとってよりわかりやすい周知・啓発が必要。
 - ・学校単位で行っているPTA研修会等で、子どもの権利に関する講演会の開催などにより、まずは保護者に対して周知した方がよいのではないか。
 - ・市から施設に向けて、子どもの権利に関する講演会や講師の紹介をすることも有効ではないか。
 - ・「あんしん家」についての関する取組を充実させて欲しい。
- 市における取組と併せ、学校等においても、あんしん家を周知するための活動をお願いしたい。
- ・交通や防犯に加え、防災に関する自助的な取組も重要である。

○その他（報告事項）

- ◎那須塩原市保育園整備計画（後期計画）【改訂版】の配付について
- ◎那須塩原市子ども・子育て未来プランの目標数値見直しについて
- ◎子育て応援券の使用対象範囲の拡大について

◆概要

- ・保育園整備計画（後期計画）【改訂版】の印刷製本版を配付。
- ・平成28年4月1日現在の待機児童数（36人）について報告。7月に栃木県から正式に発表となる。
- ・子ども・子育て未来プラン中、子ども・子育て支援事業に関する目標数値の見直しを今年度を実施。
- ・子育て応援券の対象サービス（任意の予防接種）の使用可能な医療機関の拡大について、市医師会との懇談会の場でPRした。
- ・保護者から要望があり、大田原市の医療機関でも子育て応援券が使用できるように、大田原市医師会に働きかけを行っている。